

（参考）

平成29年3月期 第2四半期連結決算概要

平成28年 11月1日
三井化学株式会社
(単位：億円)

1. 損益状況

	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	増 減	平成28年 3月期実績	平成29年3月期業績予想 (11/1発表値)	
					通 期	増減
売 上 高	7,086	5,687	△1,399	13,439	11,740	△1,699
営 業 利 益	414	454	40	709	880	171
経 常 利 益	412	419	7	632	800	168
親会社株主に帰属する 当期純利益	285	278	△ 7	230	500	270

2. セグメント別 売上高・営業利益
・売上高

(単位：億円)

	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	増 減			平成28年 3月期実績	平成29年3月期業績予想 (11/1発表値)	
			計	数量差	価格差		通 期	増減
モビリティ	1,645	1,417	△ 228	55	△ 283	3,182	2,950	△ 232
ヘルスケア	874	672	△ 202	△ 114	△ 88	1,611	1,420	△ 191
フード&パッケージング	966	883	△ 83	3	△ 86	1,952	1,820	△ 132
基盤素材	3,413	2,532	△ 881	△ 290	△ 591	6,308	5,160	△1,148
その他	188	183	△ 5	△ 5	-	386	390	4
合 計	7,086	5,687	△1,399	△ 351	△1,048	13,439	11,740	△1,699

・営業利益

(単位：億円)

	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	増 減				平成28年 3月期実績	平成29年3月期業績予想 (11/1発表値)	
			計	数量差	交易条件	固定費他		通 期	増減
モビリティ	240	211	△ 29	27	△ 50	△ 6	449	400	△ 49
ヘルスケア	51	54	3	1	△ 3	5	116	150	34
フード&パッケージング	109	110	1	5	0	△ 4	203	190	△ 13
基盤素材	43	118	75	△ 16	53	38	10	220	210
その他	0	△ 3	△ 3	-	-	△ 3	△ 1	10	11
全社費用等	△ 29	△ 36	△ 7	-	-	△ 7	△ 68	△ 90	△ 22
合 計	414	454	40	17	0	23	709	880	171

※当期より、平成26年度中期経営計画における基本戦略の更なる推進を図るため、事業セグメントを変更しております。

3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	増 減	平成28年 3月期実績	平成29年3月期業績予想 (11/1発表値)	
					通 期	増減
資産売却益	12	5	△ 7	51	5	△ 46
事業譲渡益	37	-	△ 37	37	-	△ 37
固定資産処分・売却損	△ 21	△ 24	△ 3	△ 56	△ 72	△ 16
減損損失	△ 27	△ 3	24	△ 241	△ 3	238
関連事業損失	△ 2	-	2	△ 10	-	10
合 計	△ 1	△ 22	△ 21	△ 219	△ 70	149

4. 貸借対照表

（単位：億円）

	資産の部				負債及び純資産の部		
	H28/3末	H28/9末	増減		H28/3末	H28/9末	増減
流動資産	6,282	6,046	△ 236	有利子負債	4,730	4,552	△ 178
有形固定資産	4,134	4,014	△ 120	その他負債	3,427	3,180	△ 247
無形固定資産	402	349	△ 53	自己資本	3,819	3,844	25
投資等	1,771	1,746	△ 25	非支配株主持分	613	579	△ 34
資産計	12,589	12,155	△ 434	負債純資産計	12,589	12,155	△ 434
				(NET D/Eレシオ)	(1.03)	(0.92)	(△ 0.11)

5. キャッシュ・フロー

（単位：億円）

	平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	増減	平成28年 3月期実績	平成29年3月期業績予想 (11/1発表値)	
					通期	増減
営業キャッシュ・フロー	867	675	△ 192	1,459	1,100	△ 359
投資キャッシュ・フロー	△ 127	△ 206	△ 79	△ 364	△ 690	△ 326
（フリーキャッシュ・フロー）	(740)	(469)	(△ 271)	(1,095)	(410)	(△ 685)
財務キャッシュ・フロー	△ 585	△ 223	362	△ 790	△ 400	390
その他	△ 7	△ 34	△ 27	△ 29	△ 30	△ 1
現預金等増減	148	212	64	276	△ 20	△ 296
現預金等残高	654	994	340	782		

6. 主要指標

		平成28年3月期 第2四半期	平成29年3月期 第2四半期	増減	平成28年 3月期実績	平成29年3月期 業績予想 (11/1発表値)	増減
研究開発費	億円	157	148	△ 9	315	320	5
減価償却費	億円	253	215	△ 38	486	460	△ 26
設備投資額	億円	211	187	△ 24	434	540	106
金融収支	億円	△ 25	△ 11	14	△ 26	△ 30	△ 4
期末有利子負債残高	億円	4,916	4,552	△ 364	4,730	4,420	△ 310
Net D/Eレシオ	倍	1.00	0.92	△ 0.08	1.03	0.90	△ 0.13
期末従業員数	人	13,626	13,487	△ 139	13,447	13,400	△ 47
為替レート	円/US\$	122	105	△ 17	120	103	△ 17
国産ナフサ価格	円/KL	48,000	31,450	△ 16,550	42,800	32,200	△ 10,600
連結会社数	社	132	132	0	131	132	1

7. 当期のトピックス

- ・三井化学韓国支社を現地法人化（平成28年4月）
- ・名古屋工場における高機能不織布設備の増設工事着工（平成28年4月）
（1.5万トン/年、平成29年度営業運転開始予定）
- ・システムハウス メキシコ拠点稼働開始（平成28年4月）
- ・大牟田工場 MDIプラント停止（平成28年5月、6万トン/年）
- ・三井化学アグロ、インドPI Industries Limitedとの登録合弁会社設立に合意（平成28年5月）
- ・ポリプロピレン・コンパウンド能力増強工事着工（平成28年7月）
（アメリカ・メキシコ・インドの3拠点で5万トン/年、平成29年度営業運転開始予定）
- ・柔軟性と伸縮機能に優れた高機能不織布設備の増設工事着工（平成28年7月）
（6千トン/年、平成29年度営業運転開始予定）
- ・台湾プラスチック社との電解液J Vの営業運転開始（平成28年7月、1,500トン/年）
- ・三井化学アグロ、ベトナム国Cuulong社との事業・資本提携に合意（平成28年8月）
- ・シンガポールにおける「エボリュール™」プラントの本格稼働開始（平成28年8月、30万トン/年）
- ・人工知能(AI)を用いて、化学プラントの製造過程で製品の品質予測に成功（平成28年9月）
- ・高機能サンレンズ材料「NeoContrast™」を開発（平成28年9月）



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 三井化学株式会社

コード番号 4183 URL <http://jp.mitsuichem.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 淡輪 敏

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小久江 晴子

TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	568,727	△19.7	45,368	9.6	41,902	1.7	27,767	△2.4
28年3月期第2四半期	708,647	△8.7	41,412	122.9	41,194	112.0	28,461	286.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 7,744百万円 (△66.6%) 28年3月期第2四半期 23,218百万円 (8.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	27.75	—
28年3月期第2四半期	28.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	1,215,462	442,286	31.6	384.20
28年3月期	1,258,948	443,237	30.3	381.77

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 384,390百万円 28年3月期 381,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,174,000	△12.6	88,000	24.1	80,000	26.6	50,000	117.7	49.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	1,022,020,076 株	28年3月期	1,022,020,076 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	21,532,126 株	28年3月期	21,483,760 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	1,000,512,656 株	28年3月期2Q	1,000,787,101 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

また、当社は以下のとおり経営概況説明会を開催する予定です。

・平成28年11月16日(水)・・・・・・経営概況説明会

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
① 通期業績予想の修正について	4
② 配当予想について	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(7) 追加情報	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(全般的状況)

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日の6ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)における事業環境は、米国や欧州での景気回復が継続した一方、中国における景気の緩やかな減速に加え、英国のEU離脱問題など、世界経済の変動に留意すべき状況が継続しました。日本においては、円高が進行し輸出環境が悪化するなど景気には弱さも見られるものの、雇用や所得環境の改善が続く中で緩やかな回復基調が継続しました。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
当四半期	5,687	454	419	278
前年同四半期	7,086	414	412	285
増減額	△1,399	40	7	△7
増減率(%)	△19.7%	9.6%	1.7%	△2.4%

売上高は、前年同四半期に比べ1,399億円減(19.7%減)の5,687億円となりました。これは、前期における歯科材料事業等での決算期変更による影響及びポリウレタン材料事業の譲渡による販売数量減少の影響等が351億円あったこと、ナフサなどの原燃料価格下落及び為替変動に伴う販売価格下落の影響等が1,048億円あったことによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ40億円増(9.6%増)の454億円となりました。これは、モビリティ事業における堅調な販売や基盤素材事業における事業構造改善効果の発現に伴う固定費の減少等によるものです。

経常利益は、前年同四半期に比べ7億円増(1.7%増)の419億円となりました。これは、為替差損益の悪化の影響があったものの、営業利益が増加したことなどによるものです。

特別損益は、前年同四半期に比べ固定資産処分損等が増加したため、22億円の損失となりました。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ14億円減(3.4%減)の397億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べ7億円減(2.4%減)の278億円となり、1株当たり四半期純利益金額は27.75円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

当社は平成26年度中期経営計画における基本戦略の更なる推進を図るため、平成28年4月1日付で一部事業セグメントを見直しました。具体的には、従来の機能樹脂セグメントと、石化セグメントのうち海外ポリプロピレン・コンパウンド事業を統合し、モビリティセグメントとしております。また、従来のフード&パッケージングセグメントと、ウレタンセグメントのうちコーティング・機能材事業を統合し、フード&パッケージングセグメントとしております。さらに、従来の基礎化学品セグメントと、海外ポリプロピレン・コンパウンド事業を除く石化セグメント、ウレタンセグメントのうちポリウレタン材料事業を統合し、新たに基盤素材セグメントとしております。

以上のセグメント区分の変更により、前年同四半期のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(モビリティ)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ228億円減の1,417億円、売上高全体に占める割合は25%となりました。また、営業利益は、販売数量が拡大したものの、円高の影響及び交易条件の悪化等により、前年同四半期に比べ29億円減の211億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・減益となりました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、販売は堅調に推移したものの、交易条件の悪化及び円高の影響を受けました。

機能性コンパウンド製品は、円高の影響があったものの、中国コンパウンド新会社の立ち上がり等により、順調に販売を拡大しました。

機能性ポリマーは、円高の影響があったものの、ICT（情報通信技術）関連用途の堅調な需要に的確に対応しました。

海外**ポリプロピレン・コンパウンド**事業は、北米を中心に自動車生産台数は増加したものの、為替影響を含む交易条件が悪化しました。

(ヘルスケア)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ202億円減の672億円、売上高全体に占める割合は12%となりました。一方、営業利益は、堅調な販売及び固定費減少により、前年同四半期に比べ3億円増の54億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・増益となりました。

ビジョンケア材料のメガネレンズ用材料は、販売が堅調に推移しました。

不織布は、プレミアム紙おむつの消費が堅調に推移したものの、流通在庫の消化のために当社の販売は影響を受けました。

歯科材料は、前期における決算期変更による販売数量の減少があるものの、欧米を中心に販売が堅調に推移しました。また、前期における減損損失の計上により、のれん償却費等の固定費が減少しました。

(フード&パッケージング)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ83億円減の883億円、売上高全体に占める割合は15%となりました。一方、営業利益は、円高の影響を受けたものの、堅調な販売及び交易条件の改善により、前年同四半期に比べ1億円増の110億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・増益となりました。

コーティング・機能材は、海外関係会社での交易条件の改善等がありました。

機能性フィルム・シートは、包装用フィルム分野における堅調な販売、交易条件の改善等がありました。

農業は、国内、海外ともに販売数量の減少、また円高の影響を受けました。

(基盤素材)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ881億円減の2,532億円、売上高全体に占める割合は45%となりました。一方、営業利益は、当社が進めてきた事業構造改善の効果が発現したこと及び堅調な国内需要の影響により、前年同四半期に比べ75億円増の118億円となりました。以上により、セグメント全体では、減収・増益となりました。

ナフサクラッカーの稼働率は、前年同四半期を上回りました。また、**ポリエチレン**及び**ポリプロピレン**は、国内需要を背景に堅調に推移しました。

フェノールは、前年同四半期に比べ市況は低水準ながら緩やかに改善しており、事業構造改善の効果も徐々に現れております。

高純度テレフタル酸は、中国市況の低迷を背景に厳しい状況が続いているものの、事業構造改善の効果が発現しております。

ポリウレタン材料は、事業構造改善の順調な効果発現による固定費の減少等により、収益が改善しております。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ5億円減の183億円、売上高全体に占める割合は3%となりました。また、営業損失は、前年同四半期に比べ3億円増の3億円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**(資産、負債、純資産の状況)**

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ434億円減の1兆2,155億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ425億円減の7,732億円となりました。また、**有利子負債**は178億円減の4,552億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ0.2ポイント減の37.4%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ9億円減の4,423億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ1.3ポイント増の31.6%となりました。

以上により、当期末の**ネットD/Eレシオ(ネット有利子負債(有利子負債－現預金)／自己資本)**は、前期末に比べ0.11ポイント減の0.92となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べ212億円増加し、当四半期末には994億円となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ192億円減の675億円となりました。これは主として、売掛債権、在庫の減少による運転資金の改善があったものの、前年同四半期における未収入金からの収入がなくなったことなどによるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ79億円増の206億円となりました。これは主として、前年同四半期におけるポリウレタン材料事業の譲渡による収入がなくなった影響によるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ362億円減の223億円となりました。これは主として、有利子負債の返済が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成28年11月1日に公表いたしました「通期業績予想の修正及び剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」のとおり、通期業績予想及び中間配当について見直しを行っております。

①通期業績予想の修正について

業績予想の修正にあたり、為替レートは通期103円/\$ (10月～3月 100円/\$)、国産ナフサ価格は通期32,200円/KL (10月～3月 33,000円/KL)を前提としております。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	12,150	800	710	440	43.98
今回修正予想(B)	11,740	880	800	500	49.97
増減額(B-A)	△410	80	90	60	
増減率(%)	△3.4	10.0	12.7	13.6	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	13,439	709	632	230	22.95

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売 上 高						
	モビリティ	ヘルスケア	フード&パッケージング	基盤素材	その他	全社費用等	合 計
前回発表予想	3,050	1,500	1,920	5,290	390	—	12,150
今回修正予想	2,950	1,420	1,820	5,160	390	—	11,740
増減額	△100	△80	△100	△130	0	—	△410

(単位：億円)

	営 業 利 益						
	モビリティ	ヘルスケア	フード&パッケージング	基盤素材	その他	全社費用等	合 計
前回発表予想	390	150	200	140	10	△90	800
今回修正予想	400	150	190	220	10	△90	880
増減額	10	0	△10	80	0	0	80

②配当予想について

平成29年3月期の中間配当につきましては、4円配当予想としておりましたが、当第2四半期累計期間の業績が当初予想を上回ったため、当社グループの経営状況を勘案し、1株当たり1円増配の5円の配当といたします。

平成29年3月期の期末配当予想につきましては、前回予想値からの変更はありません。これにより、1株当たりの年間配当予想は、1円増加の10円となります。

	年 間 配 当 金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想	円 銭 —	円 銭 4.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 9.00
今 回 修 正 予 想			—	5.00	10.00
当 期 実 績	—	5.00			
(ご参考)前 期 実 績 (平成28年3月期)	—	4.00	—	4.00	8.00

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	79,578	99,895
受取手形及び売掛金	245,345	212,116
たな卸資産	240,686	233,197
繰延税金資産	11,007	11,266
未収入金	44,913	40,605
その他	7,480	8,115
貸倒引当金	△799	△587
流動資産合計	628,210	604,607
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	328,354	331,538
減価償却累計額	△227,510	△229,012
建物及び構築物(純額)	100,844	102,526
機械装置及び運搬具	979,458	984,778
減価償却累計額	△866,582	△862,623
機械装置及び運搬具(純額)	112,876	122,155
土地	157,697	156,571
建設仮勘定	31,307	10,245
その他	70,313	69,486
減価償却累計額	△59,635	△59,604
その他(純額)	10,678	9,882
有形固定資産合計	413,402	401,379
無形固定資産		
のれん	9,408	7,733
その他	30,765	27,203
無形固定資産合計	40,173	34,936
投資その他の資産		
投資有価証券	124,942	123,876
退職給付に係る資産	17,571	20,982
繰延税金資産	6,362	6,334
その他	29,070	24,071
貸倒引当金	△782	△723
投資その他の資産合計	177,163	174,540
固定資産合計	630,738	610,855
資産合計	1,258,948	1,215,462

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,331	109,209
短期借入金	86,490	92,371
1年内返済予定の長期借入金	25,892	8,106
1年内償還予定の社債	20,142	30,142
未払法人税等	5,886	5,113
役員賞与引当金	164	70
修繕引当金	8,129	8,119
事業構造改善引当金	234	85
その他	98,991	90,866
流動負債合計	364,259	344,081
固定負債		
社債	59,716	49,645
長期借入金	279,583	273,701
繰延税金負債	19,791	18,311
役員退職慰労引当金	277	241
修繕引当金	4,251	3,292
環境対策引当金	786	747
事業構造改善引当金	2,648	—
退職給付に係る負債	59,659	57,317
資産除去債務	3,991	3,790
その他	20,750	22,051
固定負債合計	451,452	429,095
負債合計	815,711	773,176
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,053	125,053
資本剰余金	90,847	90,491
利益剰余金	181,128	204,892
自己株式	△14,607	△14,627
株主資本合計	382,421	405,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,650	13,358
繰延ヘッジ損益	△48	10
為替換算調整勘定	8,930	△12,511
退職給付に係る調整累計額	△23,982	△22,276
その他の包括利益累計額合計	△450	△21,419
非支配株主持分	61,266	57,896
純資産合計	443,237	442,286
負債純資産合計	1,258,948	1,215,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	708,647	568,727
売上原価	563,646	431,584
売上総利益	145,001	137,143
販売費及び一般管理費	103,589	91,775
営業利益	41,412	45,368
営業外収益		
受取利息	267	518
受取配当金	789	1,220
持分法による投資利益	3,747	956
その他	1,871	1,447
営業外収益合計	6,674	4,141
営業外費用		
支払利息	3,547	2,878
為替差損	410	3,301
その他	2,935	1,428
営業外費用合計	6,892	7,607
経常利益	41,194	41,902
特別利益		
固定資産売却益	70	150
投資有価証券売却益	1,169	373
事業譲渡益	3,738	—
特別利益合計	4,977	523
特別損失		
固定資産処分損	2,110	2,346
固定資産売却損	4	6
減損損失	2,725	344
関連事業損失	204	—
特別損失合計	5,043	2,696
税金等調整前四半期純利益	41,128	39,729
法人税等	8,306	7,138
四半期純利益	32,822	32,591
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,361	4,824
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,461	27,767

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	32,822	32,591
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,229	△1,386
繰延ヘッジ損益	327	0
為替換算調整勘定	△7,910	△20,521
退職給付に係る調整額	1,741	1,747
持分法適用会社に対する持分相当額	△533	△4,687
その他の包括利益合計	△9,604	△24,847
四半期包括利益	23,218	7,744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,796	6,798
非支配株主に係る四半期包括利益	2,422	946

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	41,128	39,729
減価償却費	23,342	20,954
のれん償却額	1,966	505
減損損失	2,725	344
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△604	△1,183
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△1,700	△2,513
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△116	△215
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△3,268	△980
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△139	△39
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△2,861	△2,774
受取利息及び受取配当金	△1,056	△1,738
支払利息	3,547	2,878
持分法による投資損益 (△は益)	△3,747	△956
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,169	△373
固定資産除却損	280	277
固定資産売却損益 (△は益)	△66	△144
売上債権の増減額 (△は増加)	17,187	27,917
たな卸資産の増減額 (△は増加)	15,634	238
仕入債務の増減額 (△は減少)	△19,401	△6,804
その他	21,768	51
小計	93,450	75,174
利息及び配当金の受取額	1,767	3,049
利息の支払額	△3,535	△3,007
法人税等の支払額	△5,028	△7,761
営業活動によるキャッシュ・フロー	86,654	67,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,737	△20,327
有形固定資産の売却による収入	197	881
無形固定資産の取得による支出	△812	△975
長期前払費用の取得による支出	△81	△275
投資有価証券の取得による支出	△38,377	△1,512
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,894	576
事業譲渡による収入	44,649	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	5
その他	591	1,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,676	△20,587

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△28,129	7,113
長期借入れによる収入	6,477	—
長期借入金の返済による支出	△20,028	△21,280
社債の償還による支出	△10,071	△71
自己株式の売却による収入	1	1
自己株式の取得による支出	△53	△21
配当金の支払額	△3,002	△4,002
非支配株主への配当金の支払額	△3,448	△3,994
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△163	—
その他	△44	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,460	△22,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	△732	△3,314
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	14,786	21,249
現金及び現金同等物の期首残高	50,622	78,151
現金及び現金同等物の四半期末残高	65,408	99,400

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージング	基盤素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	164,477	87,372	96,660	341,289	689,798	18,849	708,647
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,494	1,590	2,464	38,400	47,948	29,642	77,590
計	169,971	88,962	99,124	379,689	737,746	48,491	786,237
セグメント利益又は セグメント損失(△)	24,044	5,140	10,919	4,252	44,355	△39	44,316

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	44,355
「その他」の区分の損失(△)	△39
セグメント間取引消去等	36
全社費用等(注)	△2,940
四半期連結損益計算書の営業利益	41,412

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージング	基盤素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	141,714	67,177	88,293	253,224	550,408	18,319	568,727
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,001	1,213	2,566	27,563	36,343	24,107	60,450
計	146,715	68,390	90,859	280,787	586,751	42,426	629,177
セグメント利益又は セグメント損失(△)	21,129	5,411	11,049	11,781	49,370	△298	49,072

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	49,370
「その他」の区分の損失(△)	△298
セグメント間取引消去等	△545
全社費用等(注)	△3,159
四半期連結損益計算書の営業利益	45,368

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当社は平成26年度中期経営計画における基本戦略の更なる推進を図るため、平成28年4月1日付で一部事業セグメントを見直しました。具体的には、従来の機能樹脂セグメントと、石化セグメントのうち海外ポリプロピレン・コンパウンド事業を統合し、モビリティセグメントとしております。また、従来のフード&パッケージングセグメントと、ウレタンセグメントのうちコーティング・機能材事業を統合し、フード&パッケージングセグメントとしております。さらに、従来の基礎化学品セグメントと、海外ポリプロピレン・コンパウンド事業を除く石化セグメント、ウレタンセグメントのうちポリウレタン材料事業を統合し、新たに基盤素材セグメントとしております。

以上のセグメント区分の変更により、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

セグメントごとに製造・販売をしている主要製品は、以下のとおりであります。

セグメント		主 要 製 品
報告セグメント	モビリティ	エラストマー、機能性コンパウンド、機能性ポリマー、ポリプロピレン・コンパウンド
	ヘルスケア	ビジョンケア材料、不織布、歯科材料、パーソナルケア材料
	フード&パッケージング	コーティング・機能材、機能性フィルム・シート、農薬
	基盤素材	エチレン、プロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレン、触媒、フェノール類、高純度テレフタル酸、ペット樹脂、ポリウレタン材料、工業薬品
その他	その他	その他関連事業等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。